

# はっぴーバス運行事業について

## 一般質問



長田 謙一  
(21 政会)

**問** 昨年 12 月の本会議で質問したが、再度確認のため質問する。今年 1 月 26 日に福岡県八女市の予約型タクシー事業について、行政視察を行った。市の活性化と山間地域の生活確保に向け、路線バス、コミバス等の交通体系を見直し、利用しやすいよう、平成 22 年 12 月より実証運行を始め、平成 24 年より本格運行を目指している。加西市よりかなり勉強されており、行政、運行管理者、NPO 法人も一度視察して勉強してはどうか。

①はっぴーバスの不正運行で、監督官庁より行政処分があったが、不正運行後の公共交通活性化協議

会による安全運転の取り決めはどのような内容か。

② 12 月の本会議においても、安全運転をするために予備車の配置を検討するとの答弁だったが、予備車配置の考えは。

③公共交通活性化協議会事務局が緊急時対策のマニュアルを策定するとの答弁だったが、策定済みか。また、緊急時の連絡網であるコンプライアンスは策定しているのか。

④運行事業の拡大について、今は北部だけの運行だが、南部地区ではっぴーバスを運行する検討は。

**答** ① 1 月 23 日の第 9 回公共交通活性化協議会の内容は、協議体制の不備、契約関係の混同、地域密着の弱点、役割の不均衡という 4 つの原因に対する再発防止策の取り組みについて報告しました。具体的には、定期ミーティングによる報告・連絡・相談の徹底、

契約内容の確認の共有、関係法令の勉強会、契約の見直し、利便性の向上等の内容について提案しました。

②平成 24 年度に予算計上しています。できるだけ早い時期に配備する考えです。

③緊急時の対応マニュアルについては、今年度策定することで現在作業中です。また、緊急時連絡網は最初に作成してあり、既に運用しています。

④南部地区の運行については、平成 21 年 3 月に加西市公共交通総合連携計画で加西市全体の計画を策定しています。現在、南部は北条鉄道と路線バスが運行しています。それらとタイアップして加西市全体の公共交通を計画する考えで、そのために、現在実証運行しているはっぴーバスの成果が重要になります。

# 公約である総人件費 2 割削減について

## 一般質問



別府 直  
(新政会)

**問** 総人件費 2 割削減の金額はいくらになるのか。

**答** 行財政改革プランは平成 22 年度決算を基準にしており、人件費削減のもととしているのは、議員報酬、委員報酬、消防団公務災害負担金等の削減対象とならない額や、広域化により人件費から負担金となった消防職員の人件費を除いた 23 億 8,100 万円です。それから共済費や退職手当組合関係の加西市独自で削減しようとしてもできない経費 8 億 2,000 万円程度を除き、事業費支弁や充当財源 1 億 5,000 万円を組み戻

した 17 億円に対する 20% の 3 億 5,000 万円を目標としています。人事面で行ってはならないこととして、新入職員の極度の採用抑制、臨時職員への負担転嫁、際限のない給与抑制による士気の低下や優秀な人材確保に禍根を残さないことです。現在できるだけ目標値として定めており、毎年の検証を踏まえながら、さらなる改革を目指す考えです。

**問** 5 万人都市再生を目指しているような事業をすることも大事なかもしれないが、何をすることも必要なのは財源であり、財源なくして政策なしとの言葉のとおり、多くの市民が 5 万人都市再生に夢を託す一方で、総人件費 2 割削減を任期限内に実現することに期待をかけている人も多いことは間違いない。

市長自らが厳しい選挙において市民に訴えたものであり、任期限内

に達成する努力を求めたい。

**答** 5 万人都市再生のために、財源確保が重要であることは十分認識しています。

政治家として、選挙で掲げた公約ほど大切なものはないと思っています。実現に向けて 4 年間精いっぱい頑張っていきたいと思っており、市民の皆さんに審判していただきたいと思ひます。

## ■その他の質問項目

- ・臨時職員の今後の方針と対応
- ・ふるさと創造会議
- ・少子化と教育
- ・高齢者の交通手段